

生産現場を支援する変化適応型製造ソリューションセミナー 名古屋会場

本セミナーは都合により中止とさせていただきます。

ご案内

国際競争が激化する製造業においては、多様化する顧客ニーズに対応する付加価値の高い製品を、短期間・低コストで開発、生産することが求められています。

本セミナーでは、SAPのMESであるSAP MEと、日本で最大のシェア（注）を誇るショップフロアスケジューラのAsprovaとの連携により実現する変化対応型の製造管理ソリューションと、将来の製販統合を目指したロードマップについてご紹介いたします。

（注）2008年ITR社調査による

開催概要

開催日時

2009年10月14日（水曜日） 14時～17時30分（開場：13時30分）

会場

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社 中部支社 岡谷鋼機ビル 6階
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-4-18 岡谷鋼機ビル

[会場の周辺地図・アクセスについて（中部支社）](#)

定員

24名（定員となり次第、受付を終了）

参加費用

無料（事前予約制）

主催

- SAPジャパン株式会社
- アスプローバ株式会社
- 三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

詳細情報・公式ウェブサイト

[生産現場を支援する変化適応型製造ソリューションセミナー](#) 

プログラム

スケジュール

内容

スケジュール	内容
14時～14時5分	開会のご挨拶
14時5分～14時45分	競合激化の時代に対応するスケジュールを基軸とした変化適応型生産システムの実現のご提案 SAPジャパン株式会社 製造業にとっては、厳しい経済情勢の下で、激化する国際競争に勝ち抜くための新しいビジネスモデルの確立が重要課題となっています。即ち、多様化する顧客ニーズに対応して、付加価値の高い製品を短期間低コストで開発、生産することのできる変化適応型生産の実現が急務となっているのです。 本セッションでは、生産現場において生産スケジュールと生産実績管理（MES）との連携により実現するソリューションと、将来の製販統合を目指したロードマップについてご紹介いたします。
14時45分～15時25分	変化適応型生産を支援するグローバルMES: SAP ME SAPジャパン株式会社 生産現場において、製造履歴や品質検査等の管理情報は、紙やエクセル、個別システム、あるいは特定の人に依存している等、異なる製造拠点間はおろか同じ現場内であっても多分に分散しており、現況の製造可視化やスケジュールへのきめ細かな実績反映、不具合の影響調査のためのトレーサビリティ等が十分に確立しているとは言えない状況が見受けられます。 本セッションでは、現況の製造履歴や品質情報、またグローバルに点在する製造拠点を統合的、かつ柔軟に管理することができるMESアプリケーション「SAP Manufacturing Execution」についてご紹介いたします。
15時25分～15時40分	休憩
15時40分～16時30分	経営計画から製造現場まで、情報の「見える化」から「使える化」を実現するDIAMxMのご紹介 三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社 製造業を取り巻く環境変化が著しい現在、激しい価格競争や顧客満足度向上などの強いニーズに対し、生産現場では更なる変化・変革が求められており、生産現場に潜む課題を顕在化させ解決に導くアクションが必要になっています。 本セッションでは経営情報（ERP）から製造現場（MES、生産スケジュール、FA）まで各階層の情報を経営的視点で統合化・指標化し、企業活動の最適化を実現する「製販垂直統合モデル」をご紹介いたします。

スケジュール	内容
16時30分～17時20分	生産スケジューラAsprovaによる工程計画立案事例のご紹介 アスプローバ株式会社 製造現場の見える化において、生産計画と製造実績の連携は非常に重要な要素となります。しかし、現実にはこの間を結ぶソリューションが無いために効果的な見える化を実現できていません。この役割を担うものがまさに生産スケジューラです。 本セッションでは、「半製品在庫を1/2に削減」、「製造リードタイムを20%短縮」などのAsprovaの導入効果とSAPとの連携事例についてご紹介いたします。
17時20分～17時30分	質疑応答

(注) プログラム内容、講師など予告なく変更させていただく場合がございます。

お申込方法

お申込受付は終了いたしました。

お問い合わせ先

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
生産現場を支援する変化適応型製造ソリューションセミナー 事務局

電話：052-212-1602

関連情報

関連ソリューション

[生産システムトータルソリューション DIAMxM 製造現場の「見える化」を実現する生産システムの最適化](#)